

解答

一

- 問一 ① 枚挙 ② 操る
問二 ① ただ「ち」 ② ようさん
問三 ① エ ② イ
問四 大器晩成
問五 イ
問六 四（画目）
問七 ウ

二

- 問一 ア
問二 イ
問三 ● 自然の素材で包むことにより、鯖寿司に高級感をもたせるため。
● 傷みやすいサバが腐るのを遅らせるため。
問四 葉はそのままでは香りがしないが、傷をつけることで香りが発散されてくるから。
問五 ウ
問六 イ
問七 エ
問八 イ
問九 ア
問十 落ち葉になっても土を肥やし、虫の嫌がる香りで親株を守る点。

三

- 問一 ア
問二 永久に上の方に戻れないのではという心配がなくなりホッとしたが、その気持ちを父さんに見透かされた
問三 くないという見栄が働いたから。
問四 エ
問五 ウ
問六 自然
問七 植物公園以外で土壌動物調査ができるということ。
問八 エ
問九 イ
問十 ア

解説

二

- 問四 二つ後の段落で「木についている葉っぱはほとんど香りませんが、虫がかじって傷をつけると、その香りが発散してきます。虫をはらうための香りです。だから、実験のときには、すりつぶしたり、細かく切り刻んだりしておきます。」と述べられています。
問十 「親株のまわりに落ち、枯れ葉や落ち葉になっても、：『腐葉土』の素材となります。」「落ち葉が腐って肥やしとなる」とあります。さらに、「親株の根もと付近に落ち、虫の嫌がる香りを放ち、親を守っているようです。」と述べられています。

問二

続く部分で「実を言えば心底ホッとした」「永久にその場所から上へ上がれないんじゃないか、って気がしてたんだ。」とあります。「そのホッとした気持ちが大きいだけに、それを見透かされてたまるかという変な見栄も同時に働いて」と、「僕」の複雑な気持ちを描写されています。